

ふるさと探究「探究学習支援」事業

取組に至る背景・事業の目的

15年間のNPO活動で培った、地域資源の掘り起こしと体系化、歴史的地理的背景を含んだストーリーの捉え方と人材育成のノウハウを活かし、地域の未来を担う子どもたちへの探究的な地域学習に活用できるよう地域資源の見せ方を工夫していく。

また、行政や他の市民団体との協働のまちづくりの実績を活かし、市、教育委員会、学校、地域等との連携を深め、子どもたちの探究的な地域学習を継続的に支援できる仕組みの構築を目指す。

事業内容

- フィールドワークを主体とした小中学生対象の地域探究学習講座の開催
- 探究学習支援ツールの作成
- 探究学習支援サイト「ふるさと探究安曇野」での活用事例等の情報発信
- 「屋敷林フォーラム」や信州歴史的まちなみフォーラム、パネル展等による広報



【地域探究グループ作業の様子】

事業効果

探究学習講座の開催：7団体（中学校2、小学校1、他4）

探究学習講座の受講者：239名

活動事例パネル表示（公共施設等）：4ヶ所（環境フェア、歴まちフォーラム、ココブラトークショー、屋敷林フォーラム）

活動事例発表を行うフォーラム等の参加者：74名+CATVでの発信（屋敷林フォーラム）

- ・実施した地域探究学習講座のフィードバックによる活動事例等の支援ツール及び支援サイトの充実により、学校等における探究的な地域学習を支援し、次代を担う子どもたちの育成につなげる。
- ・行政や市民活動団体等のネットワークに学校等が加わることで、地域で学校を支える仕組みづくりの第一歩となった。

工夫・苦勞した点、課題、今後の取組など

「教える」のではなく、子ども達が楽しみながら「気づき」「考える」ことを工夫しているが、そのためにはNPOも教師も意識改革が必要だと感じている。また、持続的な活動には、多忙な学校現場の理解と共に、学生や若手教師等の担い手の確保が大きな課題である。

教育委員会と連携し安曇野市が取り組む、ふるさと安曇野を体験的・探究的に学ぶ時間「安曇野の時間」での活用を視野に、令和5年度は教師を対象とした地域探究体験会、令和6年度以降は若手教師や大学生等を対象とした「担い手育成講座」の開講を検討中。区や公民館、博物館等とも連携を深め、地域の幅広いネットワークを活かした持続可能なしくみづくりへとつなげていく。

【選定のポイント】

- ・教育現場では、学校内に留まらない地域社会を学ぶ場とする主体的な学習が求められている中、本事業はこのようなニーズに対応した事業であり、評価できる。
- ・地域住民と協働して学校や子どものニーズに応じたオーダーメイドで「謎解きウォーク」など子どもに親しみやすい形で探究的な学びの場を提供するなど先進的な取り組みである。

団体名 NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団
 連絡先 0263-81-1325
 ホームページ
<https://azumino-furusato.com/>
 メールアドレス
lifepoint@nifty.com

事業タイプ ソフト事業
 事業費 1,024,210円
 支援金額 756,000円